

【Basic I】

筆記試験 <理論> 例題集 ③

(60分)

I. 次の楽譜を見て、各問に答えなさい。

1. ①～⑤のコード・ネームを書きなさい。

① _____ ② _____ ③ _____ ④ _____ ⑤ _____

2. A～Cの2音間の音程を答えなさい。

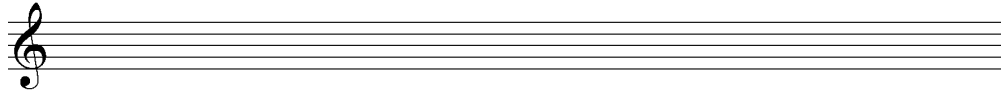
A _____ B _____ C _____

●コード判別と音程に関する問題です。Basic I では基本的な種類のコードについて、構成音からコード・ネームを判別できることが必要です。

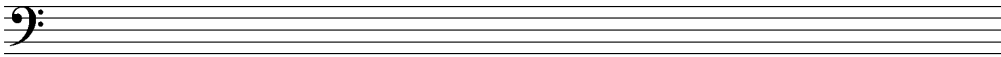
(正解) 1. ① Em7 ② D7 ③ Gmaj7 ④ Cmaj7 ⑤ Am7 2. A. 短3度 B. 短7度 C. 長6度

II. 下記に指定されたスケールを、調号をつけずに（臨時記号を使用して）書きなさい。

(1) B major（長音階）

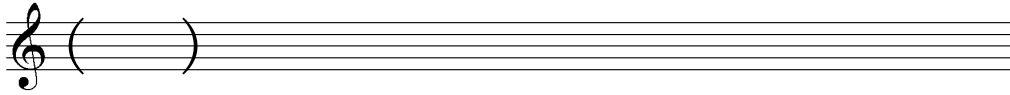


(2) C[#] natural minor（自然短音階）

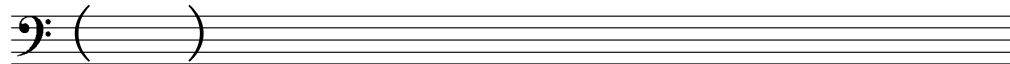


III. 下記に指定されたスケールを、調号をつけて書きなさい。

(1) F harmonic minor（和声短音階）



(2) D melodic minor（旋律短音階）＜上行形のみ＞

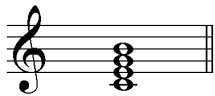


● 音階を記譜する問題です。3つの短音階の種類を把握しておくことと、音部記号にも注意しましょう。



IV. 例にならって、次のコード・ネームの和音の基本形を書きなさい。

(例) Cmaj7



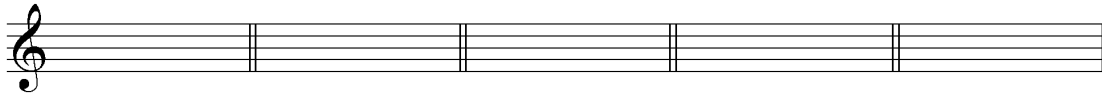
E♭

F♯m7

A♭7

Bdim

Amaj7



●コードの構成音を問う問題です。各種類のトライアドおよびフォー・ノーツ・コードについて、コード・ネームからの音符を組み立て方を理解しておきましょう。

なお、dimコードは本来はディミニッシュ・トライアド（三和音）ですが、慣用的にdim7（四和音）と区別せずに使われることがあるので、構成音が正しければいずれも正解とします。

(正解)



V. コード進行を分析した次の表の空欄に、適切な度数または機能を記入しなさい。

(コードの機能:T=Tonic, S=Subdominant, D=Dominant)

(1) Key : B^b major

コード	B ^b maj7	E ^b maj7	Cm7	F7	Dm7	
度数	I maj7	IVmaj7	()	V7	()	~
機能	T	()	S	()	T	

(2) Key : G major

コード	Gmaj7	Em7	Cmaj7	Am7	D7	
度数	I maj7	()	()	II m7	()	~
機能	T	T	S	()	D	

(3) Key : F major

コード	Am7	Dm7	Gm7	C7	Fmaj7	
度数	()	VI m7	()	()	()	~
機能	T	()	S	()	T	

●ダイアトニック・コードの機能、度数に関する問題です。各メジャー・キーにおいて、7つのダイアトニック・コードのコードネームと機能を正しく導き出せるようにしておきましょう。

(正解) (1) Key : B^b major

コード	B ^b maj7	E ^b maj7	Cm7	F7	Dm7	
度数	I maj7	IVmaj7	(II m7)	V7	(III m7)	~
機能	T	(S)	S	(D)	T	

(2) Key : G major

コード	Gmaj7	Em7	Cmaj7	Am7	D7	
度数	I maj7	(VI m7)	(IVmaj7)	II m7	(V7)	~
機能	T	T	S	(S)	D	

(3) Key : F major

コード	Am7	Dm7	Gm7	C7	Fmaj7	
度数	(III m7)	VI m7	(II m7)	(V7)	(I maj7)	~
機能	T	(T)	S	(D)	T	

VI. 下記のケーデンス（終止形）の種類として適切なものを、 内から選んで番号で答えなさい。

(1) Key : A major

| Amaj7 | Dmaj7 | E7 | Amaj7 || ()

(2) Key : D major

| Em7 | A7 | Dmaj7 || ()

(3) Key : E^b major

| E^bmaj7 | A^bmaj7 | E^bmaj7 || ()

- | | | |
|------------------------|------------------|-----------------------|
| 1. ドミナント・ケーデンス | 2. サブドミナント・ケーデンス | 3. サブドミナント・マイナー・ケーデンス |
| 4. サブドミナント-ドミナント・ケーデンス | 5. トゥー・ファイブ | 6. 1～5以外のケーデンス |

●コード進行（ケーデンス／終止形）についての問題です。『セオリー・オブ・ポピュラー&ジャズ 1』第3章 VI(43～46ページ)に記載されている代表的なケーデンスの種類とその意味を理解した上で、各キーにおけるコード進行を分析することが求められます。

(正解) (1) 4 (2) 5 (3) 2

VII. 次の文章の () にあてはまる語句、数字、または記号を語群から選んで番号で答えなさい。

- (1) メジャー・セブンス・コードは、ルートに長3度、()、()の音を加えた和音である。
 (2) 異名同音を除き、メジャー、マイナーそれぞれにつき()種類のキー(調)が存在する。
 (3) 長3度の音程を半音狭くした音程は()である。
 (4) ダイアトニック・コードのうち、VII_m7^(b5)は()機能を持つ代理コードである。
 (5) ドミナント・セブンス・コードは、その中に含まれる()の働きによって、()に進行しようとする機能を持つ。

- (語群) ① 短3度 ② 減3度 ③ 完全4度 ④ 減5度 ⑤ 完全5度 ⑥ 短7度 ⑦ 長7度
 ⑧ 8 ⑨ 9 ⑩ 10 ⑪ 11 ⑫ 12 ⑬ トニック ⑭ サブドミナント
 ⑮ ドミナント ⑯ エンハーモニック ⑰ トライトーン ⑱ 協和音程 ⑲ ルート

●楽典や、音楽理論に関する用語の問題です。Basic I では、『セオリー・オブ・ポピュラー&ジャズ 1』と『ピアノ・パフォーマンス 1』の範囲から出題されますので、これらに出てくる用語をよく理解しておきましょう。

(正解) (1) ⑤、⑦ (2) ⑫ (3) ① (4) ⑮ (5) ⑰、⑬